

愛知学院大学
第182回 モーニング・セミナー

愛知・名古屋の歴史的建物探訪！
～おすすめの歴史的建築物とは～

Design Method for Environmental Direction

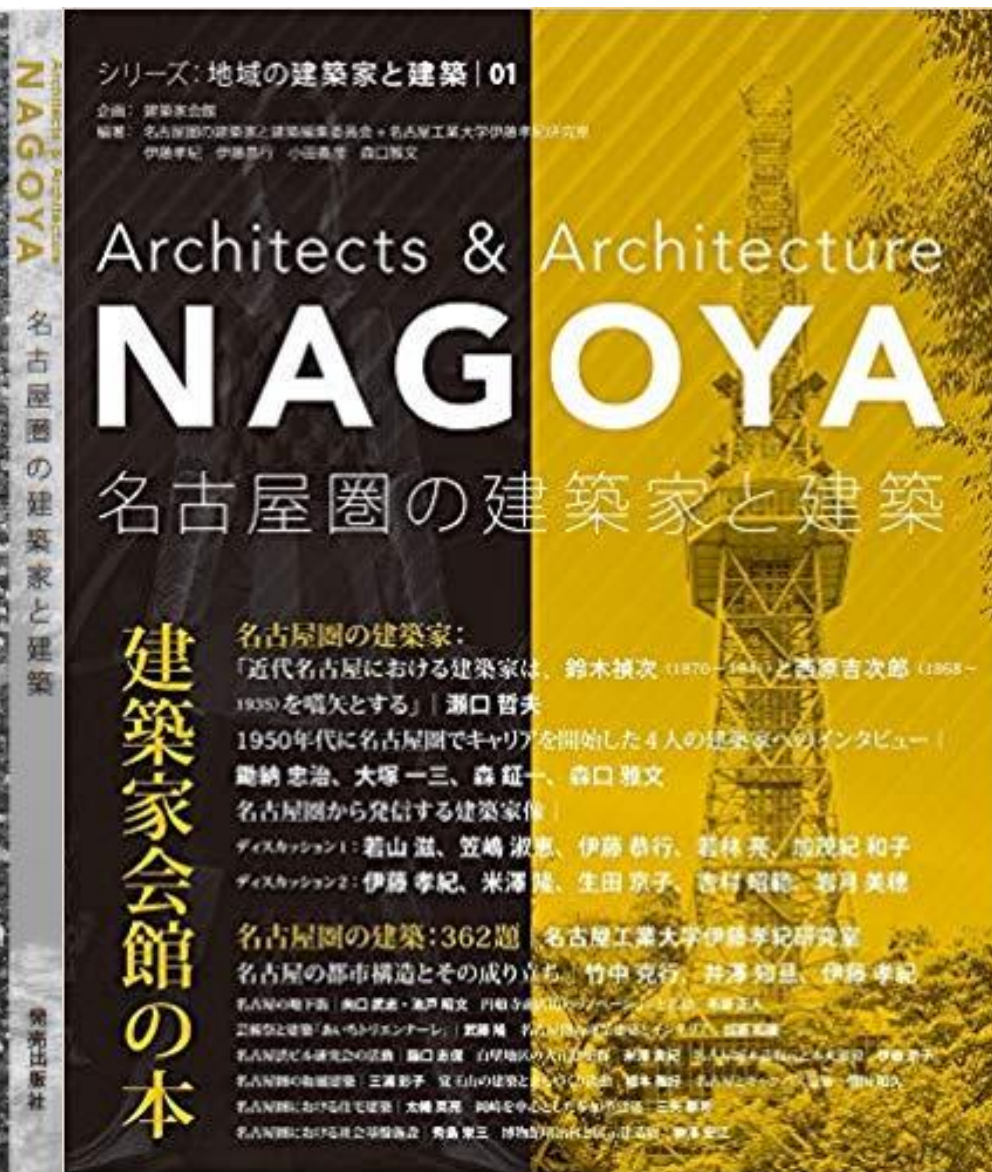
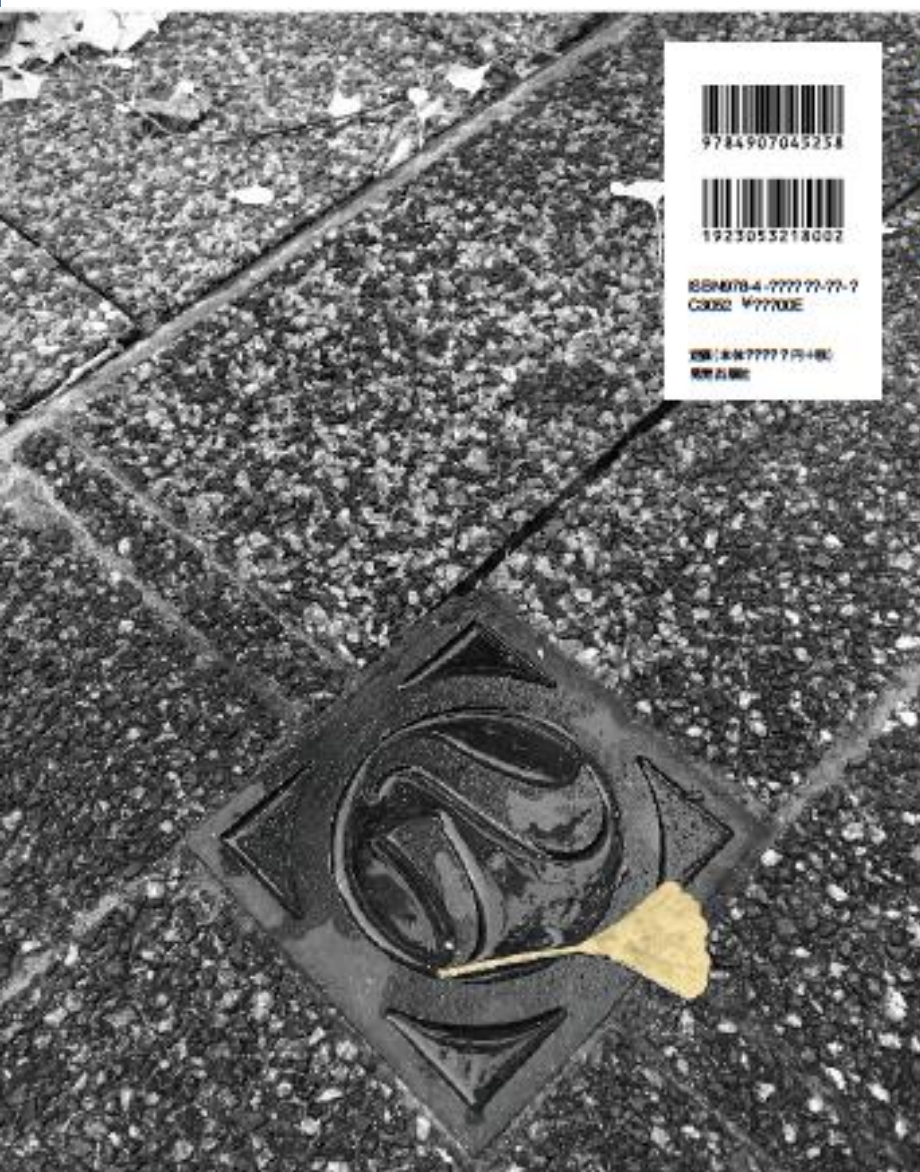
2021.05.11

伊藤 孝紀

名古屋工業大学大学院 准教授
有限会社 タイプ・エービー 主宰

博士(芸術工学)

書籍『名古屋圏の建築家と建築』 建築技術



編集委員会＋名古屋工業大学伊藤孝紀研究室

建築家の系譜からみる名古屋圏の建築

日本における建築家の創成(東京大学卒業年)から、
東海地区に由縁のある建築を紹介します。
実際に週末、見学してもらうのが意図です。

ジョサイア・コンドル (Josiah Conder)



1852年～1920年

イギリスのロンドン出身の建築家。

お雇い外国人として来日。政府関連の建物の設計を手がけた。

工部大学校(現・東京大学工学部建築学科)の教授(着任時、25歳)。

辰野金吾ら、創成期の日本人建築家を育成し、明治以後の日本建築界の基礎を築いた。

辰野 金吾（たつの きんご）



1854年～1919年

【1879年（明治12年）卒・造家学科 第1回生】

”近代建築の父“。設計の頑丈さから

「辰野堅固」と呼ばれた。

西洋から取りいれた様式と日本の技術が融合した設計技法。壮大で重厚な外観と和の伝統が感じられる優雅な内装が特徴。

帝国大学では後進の指導にも励み、伊東忠太、長野宇平治、武田五一らの人材を輩出。

東大仏文科で小林秀雄、三好達治らを育てたフランス文学者・辰野隆は息子。

鈴木 禎次(すずき ていじ)



1870年～1941年

【1896年(明治29年)卒】

夏目漱石の妻である夏目鏡子の妹と結婚。

1903年(明治36年)には文部省の命を受け
イギリスとフランスに留学。

1906年(明治39年)名古屋高等工業学校
(現・名古屋工業大学)の建築科教授に就任。

生涯で設計した建築物は80棟、うち44棟が
名古屋市内に集中。

「名古屋をつくった建築家」とも呼ばれる。



鶴舞公園 噴水塔(1909年)

ドリス式8本の大理石円柱



鶴舞公園 奏楽堂(1909年)

アール・ヌーヴォーを取り入れたルネサンス風
1997年に復元



旧中埜家住宅(1911)



揚輝荘 伴華楼(1929年)



旧名古屋銀行本店(1926年)

武田 五一(たけだ ごいち)



1872年～1938年

【1897年(明治30年)卒】

ヨーロッパ留学で影響、**アール・ヌーボー**、**セセッション**など、**新しいデザイン**を紹介。

京都高等工芸学校(現・京都工芸繊維大学)
図案科や京都帝国大学(現・京都大学)に
工学部建築学科を創立。

「**関西建築界の父**」とも言われる。

「新建築」創刊も指導。

1918年(大正7年)**名古屋高等工業学校**
(現・名古屋工業大学)校長。



岐阜信用金庫 美江寺支店(1924年)



名和昆虫博物館(1919年)



春田鉄次郎邸(1924年)



名和昆虫研究所 記念館(1907年)

渡辺 仁(わたなべ じん)



1887年～1973年

【1912年(明治45年)卒】

卒業後、鉄道院に務め、逓信省入省。

吉田鉄郎、山田守らが活躍する、次代への橋渡し役をした。

1920年(大正9年)4月 独立し、渡辺仁建築工務所開設。

作品のスタイルは当時としては珍しい、

歴史主義様式のほか、表現派、帝冠様式、機能 / 合理主義様式、初期モダニズムと多岐にわたる。

1938年(昭和13年)3月完成。昭和天皇御大典(ごたいてん)の記念事業の1つとして建設。
西村好時と渡辺仁の基本設計を基に、工事顧問の佐野利器、土屋純一の指導の下、
愛知県総務部営繕課が実施設計を行った。
頂部に名古屋城大天守風の屋根を乗せた帝冠様式の意匠が特徴的である。



免震レトロフィット改修

基本設計 日建設計

実施設計 戸田建設

施工 戸田建設・三井住友建設・八神建築・トーエネック・三機工業JV

竣工年月:2009年12月

山田 守(やまだ まもる)



1894年～1966年

【1917年(大正6年)卒】

岐阜県羽島郡上中島村(現・羽島市)生まれ。

岐阜県立大垣中学校、第四高等学校。

逓信省営繕課に入り、電信局・電話局(逓信建築)の設計を行う。

東京中央電信局(1925年、現存しない)、パラボラ型アーチの並ぶ個性的なデザインが注目。逓信建築の先駆者的存在、モダニズム建築を実践し、曲面や曲線を用いた個性的、印象的なデザインの作品を残した。



日本武道館(1964年)



東海大学湘南校舎1号館(1962年)



京都タワー(1964年)

堀口 捨己(ほりぐち すてみ)



1895年～1984年

【1920年(大正9年)卒】

岐阜県本巣郡席田村生まれ。

岐阜県立岐阜中学校(現・岐阜高等学校)

ヨーロッパの新しい建築運動に心惹かれ、
東大同期生らと従来の様式建築を否定する
分離派建築会を結成。

日本の数寄屋造りの中に美を見出し、伝統文化
とモダニズム建築の理念との統合を図った。

論文「利休の茶」など日本建築と庭園の研究家
でもある。

八勝館（1925年- 名古屋市八事）

名古屋市昭和区広路町にある老舗料亭。

名古屋において、**河文**と並ぶ由緒ある料亭。

1925年（大正14年）- 料理旅館として創業

1950年（昭和25年）- 第5回国民体育大会に
出席する昭和天皇が宿泊するため

「**御幸の間**」を建設。

北大路魯山人ゆかりの料亭。

食器から便器に至るまで魯山人の作品を所蔵。



谷口 吉郎(たにぐち よしろう)



1904年～1979年

【1928年(昭和3年)卒】

帝国劇場の設計者、庭園研究者。

東京工業大学 教授(1943年～1965年)

博物館明治村の初代館長。

当時の名古屋鉄道社長・土川元夫と意気投合、
明治村開館のために尽力。

谷口と土川は金沢・四高の同級生。

息子の谷口吉生も建築家→ 豊田市美術館



藤村記念館 (岐阜県中津川市馬籠・1947年)



愛知県陶磁美術館 (1978年)



名古屋大学古川記念館 (1964年)



ホテルオークラ東京・ロビー (1962年)



水鏡の間(みずかがみ・1973年)

河文

名古屋最古の老舗料亭。
寛永年間に河内屋文左衛門が創業。
江戸時代は、尾張徳川家御用達として利用された。
明治時代には、伊藤博文など総理経験者も訪れた。

坂倉 準三(さかくら じゅんぞう)



1901年～1969年

【1923年(大正12年)卒・文学部】

岐阜県羽島郡竹ヶ鼻町(現・羽島市)生まれ。

岐阜県立岐阜中学校(現・岐阜高等学校)

東京帝国大学文学部美学美術史学科美術史
卒業。

ル・コルビュジエに師事し、モダニズム建築を
実践。

1937年(昭和12年)のパリ万国博覧会では、日
本館の設計を手がけ、日本のなまこ壁を思わ
せるデザインとモダニズムの理念を統合し、海
外でも高い評価を受けた。



神奈川県立近代美術館(1951年)



中産連ビル本館(1963年)



岐阜市民会館(1967年)



羽島市庁舎(1960年日本建築学会賞)

フランク・ロイド・ライト (Frank Lloyd Wright)



1867年～1959年

「**プレイリースタイル(草原様式)**」の住宅。

1906年のロビー邸は代表的作品。

基本的にはモダニズムの流れをくみ、幾何学的な装飾と流れるような空間構成が特徴。

「**有機的建築**」と定義づけ、**自然と調和した形と精神を建築**で示した。

浮世絵の収集でも知られ、日本文化から少なからぬ影響を受けた。

1913年、帝国ホテル新館設計のために訪日、1923年に竣工。



アントニン・レーモンド (Antonin Raymond)



1888年～1976年

チェコ出身の建築家。

フランク・ロイド・ライトのもとで学び、帝国ホテル建設の際に来日。

その後日本に留まり、モダニズム建築の作品を多く残す。

第二次大戦時アメリカの対日戦争協力者。

日本文化・思想を表現

「自然は人工よりはるかに美しい」

「簡素と軽快は複雑なものより美しい」

「節約は浪費より美しい」



軽井沢聖パウロカトリック教会(1934年)



南山大学(名古屋キャンパス・1964年)



札幌聖ミカエル教会(1961年)



神言神学院(1966年)